

日本計算機統計学会 第 39 回シンポジウム

開催趣意書

2025 年 7 月吉日

日本計算機統計学会第 39 回シンポジウム実行委員会

委員長： 栗原 考次(京都女子大学)

副委員長： 阿部 貴行(京都女子大学)

中村 智洋(京都女子大学)

実行委員： 足立 浩平(京都女子大学)

山田 隆行(京都女子大学)

林 邦好(京都女子大学)

土田 潤(京都女子大学)

竹村 祐亮(京都女子大学)

瀬戸 ひろえ(京都女子大学)

出井 豊二(京都女子大学)

秋元 良友(千葉大学)

小木 しのぶ(NTT データ数理システム)

北西 由武(塩野義製薬)

嶋田 香奈子(横浜市立大学)

宿久 洋(同志社大学)



ご挨拶

近年、IoT や AI の発展により、産業や生活全般がデータ化・自動化され、「Society 5.0」の実現が進んでいます。社会の急速な変化の中で、SDGs の達成に向け、先端技術と専門知識を活用した課題解決と新たな価値創出が求められています。政府は「AI 戦略 2019」において、データサイエンス・AI を駆使してイノベーションを創出し、世界で活躍できる人材の育成の重要性を強調しています。

このような状況の下、数理・データサイエンス・AI と密接に関わる計算機統計学の分野では、統計理論やアルゴリズム、課題解決の手法などが重要なテーマとなっています。これらを議論する場として、一般社団法人 日本計算機統計学会では、年 2 回の学会合（春：大会、秋：シンポジウム）を開催し、社会が抱えるさまざまな課題の解決を目指しています。

本学会合では、計算機統計学の研究・開発・応用に携わる最前線の研究者や実務家による、約 100 件前後の最新研究成果の発表が見込まれるほか、密接な研究交流を通じて、参加者の研究スキル向上と研究内容の高度化が促進されています。また、産官学連携によるデータサイエンスの取り組みをはじめ、数理・データサイエンス・AI 教育やスポーツデータ分析などをテーマとした企画セッションも設け、医療、製薬、生成 AI、教育、スポーツをはじめとする様々な分野における社会的課題について、データサイエンスの視点から議論を深めています。

2025 年 11 月には、第 39 回シンポジウムを、女子大学として初めてデータサイエンス学部を開設した京都女子大学にて開催いたします。京都での開催を活かし、京都府ならびに近畿圏の多くの企業・団体、公共機関、教育機関の関係者の皆さまに広くご参加いただき、活発な議論を交わしていただければと考えています。また、学生と企業の交流の場となる「産官学連携セッション」も設け、若手人材のキャリア形成を支援する機会としたいと考えています。さらに特別講演では、「京都の文化を楽しむ」をテーマに、京都開催にふさわしく、京都の食文化、文化財建造物、そして近年問題となっているオーバーツーリズムの現状について、それぞれの分野でご活躍の先生方にご講演いただく予定です。歴史的・文化的資源、知的集積、そして先端産業を有する京都の地において、計算機統計学の関連領域にとどまらず、産業界・教育界・スポーツ界など、さまざまな分野の方々がデータサイエンスを軸に交流を深めていく場となることを目指しています。

日本計算機統計学会第 39 回シンポジウム
実行委員長 栗原 考次



日本計算機統計学会第 39 回シンポジウム開催概要

1. 主催:一般社団法人 日本計算機統計学会
 2. 責任者:第39回シンポジウム実行委員長 栗原 考次(京都女子大学)
 3. 会期:2025年11月7日(金)、8日(土)、9日(日)
 4. 会場:京都女子大学(京都市東山区今熊野北日吉町 35)
 5. 目的と意義:
計算機統計学をコアに統計理論やアルゴリズム、データ分析による社会における課題解決やソフトウェアなどの情報ツールの活用に関する新たな知見や技術を共有する
 6. 内容:
11月7日(金) チュートリアル
検討中
11月8日(土)、9日(日) シンポジウム
特別講演1:京の食文化(料理研究家 杉本節子氏)
特別講演2:京都文化財建造物(京都女子大学 鶴岡典慶氏)
特別講演3:京都のオーバーツーリズムの現状(祇園南側地区まちづくり協議会 太田磯一氏)
企画セッション1:産官学におけるデータサイエンスの取組み(塩野義製薬 北西由武氏)
企画セッション2:臨床予測モデル(京都府立医科大学 手良向聡氏)
企画セッション3:製薬関連(ファイザー 河合統介氏、中外製薬 山本英晴氏)
一般セッション、学生セッション、ソフトウェア・デモセッション 他
 7. 予定参加人数;250 名
大学・研究機関の研究者、大学院・学部学生、データサイエンス・計算機・統計など関連企業
 8. シンポジウム組織:日本計算機統計学会第 39 回シンポジウム実行委員会
 9. 振込先:
銀行名:みずほ銀行
支店:青山支店
口座番号:普通 8211198
口座名:日本計算機統計学会 コホウケンソウケイ ヲカ
 10. お問合せ先:
日本計算機統計学会 第 39 回シンポジウム実行委員会 (E-mail:sympo39@jscs.jp)
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 3-6 能楽書林ビル 5F
公益財団法人 統計情報研究開発センター内
TEL/FAX:03-3234-7580
- 収支予算
- 1)収入:参加費 90 万円、運営補助費 20 万円、協賛 70 万円
 - 2)支出:会場・設備費 30 万円、運営経費 150 万円

協賛のご案内

協 賛 内 容	金 額 (括弧内は 学会賛助会員の場合)	申込期限	原稿等 提出期限
(1) 論文集への広告出稿		10月17日 (金)	10月24日 (金) (論文集 原稿)
表4(裏表紙カラー 1ページ)	90,000円(80,000円)		
表3,表3対向(各1ページ)	70,000円(60,000円)		
通常位置(1ページ)	60,000円(50,000円)		
通常位置(1/2ページ)	40,000円(30,000円)		
採用案内(1/8ページ)	20,000円(20,000円)		
(2) 展示スペースへの出展	60,000円(50,000円)		
(3) カタログ出展	40,000円(30,000円)		
(4) カンファレンスバッグへの カタログなど挿入	60,000円(50,000円)		
(5) バナー広告掲載 (150px×150px)	50,000円(40,000円)		
(6) 名札用紙への名刺大広告 広告、出展と併せての場合	40,000円(30,000円) 20,000円(20,000円)		
(7) ノベルティグッズのご提供	0円	当日	

- ◆ 上記のほか、シンポジウムへの寄付金などによる協賛も承ります。
- ◆ 日本計算機統計学会(JSCS)の賛助会員には割引料金(括弧内料金)を設定しております。
- ◆ (1)の論文集への広告出稿については、申込期限を抽選締切日として、枠に空きがある場合は原稿締切日まで弾力的に受付いたしますのでお問い合わせいただければ幸いです。
- ◆ (2)(3)(4)(5)の申込締切日は、抽選などの整理のためのものです。シンポジウム開催直前まで、随時受け付けますので、シンポジウム実行委員会までお問い合わせください。論文集に協賛企業名を掲載するための期日は10月24日(金)が目安となります。
- ◆ 展示スペースへの出展の場合、ソフトウェア・デモセッションでの発表ができます。発表されるかどうか申込書にご記入ください。

申込方法

別添の申込用紙をご利用になり、E-mailでシンポジウム実行委員会までお送りください(シンポジウムのWebページ(<https://jscs.jp/conf-sympo39/>)より申込用紙の電子ファイルをダウンロードできます)。折り返し、シンポジウム実行委員会より請求書を送付いたしますので、期日までに料金をお振込ください。

上記いずれの協賛においてもWebサイトおよび講演論文集への協賛一覧に社名・団体名を記載いたします。

協賛内容の詳細

(1) 論文集への広告出稿

商品などの広告はもちろん、人材募集やセミナーなどの広告も可能です。

- ◆ 掲載媒体 日本計算機統計学会第 39 回シンポジウム論文集 (A4 サイズ)
- ◆ 配布予定部数 250 部 (参加者、協賛企業、JSCS 賛助会員など)
- ◆ 掲載位置・料金
 - 表 4(裏表紙)
 - 1ページ (カラー) 90,000 円 (JSCS 賛助会員は 80,000 円)
 - 表 3 (裏表紙の裏)、表 3 対向 (表 3 の左側)
 - 1ページ (白黒) 70,000 円 (JSCS 賛助会員は 60,000 円)
 - その他 (論文集末尾の広告ページ)
 - 1ページ (白黒) 60,000 円 (JSCS 賛助会員は 50,000 円)
 - 1/2 ページ (白黒) 40,000 円 (JSCS 賛助会員は 30,000 円)
 - 採用案内 (通常ページの中で、採用特集ページに掲載) 20,000 円
大きさは 1/8 程度で、企業ロゴまたは社名と 30 文字程度の文章および URL をご用意いただきます。賛助会員または学会員が所属する企業に限定させていただきます。
表 4、表 3 および表 3 対向の 3 ヶ所につきましては抽選とさせていただきます。抽選に洩れた場合は、通常のページへの掲載とさせていただきます。ご希望に添えない場合もありますことを予めご了承ください。
- ◆ 原稿送付方法
 - そのままで印刷可能な原稿(表 4 のみカラー、それ以外は白黒)を、電子ファイル (PDF または EPS) をご用意の上、シンポジウム実行委員会にご送付ください。
 - 表紙はホワイトアートポスト 180、本文は上質紙 70 に印刷されます。
 - 縁無し印刷でご利用可能です。縁無し印刷を希望される場合は 3mm の塗り足しおよびトンボを付記した状態でご入稿ください。(公差±3mm 以内許容)
 - 編集作業は Adobe Illustrator および Adobe InDesign で行います。フォントが埋め込まれていない場合は外観の差が発生する場合がございますのでできるだけテキストのアウトライン化をしてください。
 - また論文集という特性上ノドの部分 15mm 程度には文字やロゴといった表現上大事なオブジェクトを配置しないようにお願いいたします。
 - 表4はカラー印刷されますので、CMYK にてご入稿ください。CMYK の合計が 300 を超えるようなリッチブラックや画像の解像度が低い場合は再入稿依頼をいたします。また、QRコードなどを配置する際は見当ズレ時に影響が出ないようにできるだけスミ1色での配色をお願いいたします。

(2) 展示スペースへの出展

展示スペースでソフトウェアや商品、カタログの展示を行うことができます（販売はできません）。

- ◆ 出展場所 シンポジウム会場内
電源、テーブル、椅子のみご用意いたします。PC は各自ご用意ください。ネット環境はシンポジウム実行委員会までお問い合わせください。
- ◆ ソフトウェア・デモセッションでの発表
ご希望により、シンポジウムのソフトウェア・デモセッションで 10 分程度の発表（紹介、チュートリアル、使用説明など）を行うことができます。
- ◆ 出展料金（1 ブース） 60,000 円（JSCS 賛助会員は 50,000 円）
上記料金にシンポジウムへの 1 名様のご参加（論文集 1 部）が含まれています。
（参加者の参加登録は必要です。登録後、シンポジウム実行委員会までご連絡ください。参加費をゼロ円に変更いたします。なお、懇親会、および開催初日のチュートリアルは有料です。）

(3) カタログ出展

展示スペースに会社紹介や商品などのカタログを展示することができます。

- ◆ 出展場所 シンポジウム受付横
- ◆ 出展料金（A4 サイズ 2 点まで） 40,000 円（JSCS 賛助会員は 30,000 円）

(4) カンファレンスバッグへのカタログなどの挿入

カンファレンスバッグに、貴社が用意されたカタログなどを挿入し、全参加者に配布いたします。

- ◆ 必要部数 250 部
- ◆ 料金（A4 サイズ 2 点まで） 60,000 円（JSCS 賛助会員は 50,000 円）

(5) シンポジウム Web ページへのバナー広告の掲載

シンポジウム Web ページ（<https://jscs.jp/conf-sympo39/>）にバナー広告を掲載いたします。

- ◆ 掲載位置 ページ左上 メニュー上部（150px×150px）
バナー広告の掲載の順番（左から）は、先着順、もしくは、抽選とさせていただきます。
- ◆ 料金 50,000 円（JSCS 賛助会員は 40,000 円）
- ◆ 広告ファイル送付方法
指定サイズ(150px×150px)の大きさの電子ファイル（JPG または PNG）及びリンク先をご用意の上、シンポジウム実行委員会にご送付ください。

(6) 名札用紙への名刺大広告

現地で参加者に配布する名札に、名刺大の広告を掲載いたします。

- ◆ 料金 40,000 円(JSCS 賛助会員は 30,000 円)

広告、出展と合わせての場合 20,000 円(JSCS 賛助会員も同額)

- ◆ 広告ファイル送付方法

指定サイズ(100mm×55mm:フチなしの場合は 106mm×61mm にて塗り足しをお願いします)の大きさの電子ファイル(PDF または Adobe Illustrator)をご用意の上、シンポジウム実行委員会にご送付ください。掲載位置などの詳細はお申し込み後にご案内申し上げます。特色刷りには対応しておりません。

(7) ノベルティグッズのご提供

シンポジウム開催期間中に、休憩室及び受付周辺にて配布いたします。当日お持ち込みの場合はその場でシンポジウム実行委員までお知らせください。ただし、グッズの内容によってはお断りさせていただく場合もございますのでご了承ください。宅配便などでご送付いただく場合は、グッズの内容及び量を事前にシンポジウム実行委員会までお知らせください。送付先並びに配達日時のご案内をいたします。